

平成28年度 京都府立綾部高等学校（本校全日制） 学校経営計画（スクールマネジメントプラン） （計画段階）

学校経営方針(中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<ul style="list-style-type: none"> ・学力の向上と進路希望の実現 ・基本的な生活習慣の確立 ・基本的な人権を尊重する態度と豊かな人間性の育成 ・健康及び体力の維持・向上 ・地域社会から信頼される学校づくりの推進 	<p>【本校】 （成果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学力向上」に重点的に取り組み、春と秋に公開授業旬間を設置し、研究授業を行い、相互に評価しあう機会とした。また、教科（英語）として指導主事を招へいし、教科指導の在り方等について研修を深めた。 ○「土曜講座」「学習合宿」等の進路指導について改善を進めたことにより、生徒の満足度が高まりつつある。長期休業を利用し、教科指導力の向上を目的とした外部機関での研修に多くの教員が参加した。また、大学や先進校の視察についても意欲的に取り組んだ。 ○他校種間連携を積極的に実施し、生徒の学習ボランティアや教員の小中学校への出前授業、部活動単位の交流等を充実させることができた。 ○総務企画部が中心となり、府立高校特色化事業等の企画・運営を行うことで、地域活性化に係る生徒の意欲を向上させることができた。また、報道機関への情報提供、保護者メールの配信、中学校への広報誌の配布等、情報発信や生徒募集に大きな成果があった。今年度は、綾部市立中学校の1年生を対象として、高校の学びの体験と進路学習を目的とした「学び体験 in 綾高」を3回実施することができた。 ○施設設備関係では、L.L教室の充実を図り、英語力の向上に向けた取組の準備を進めた。また、A棟の耐震工事が完了し、より安全な環境を提供できるようになった。 ○部活動について、運動部は、男子ソフトボール部・カヌー部・陸上競技部が全国高等学校総合体育大会に出場した。特に男子ソフトボール部は春の全国高等学校選抜大会にも連続して出場した。 ○同窓会、PTAの協力を得て、生徒のキャリア形成に向けた取組を成功させることができた。 <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○進路保障、特に進学面において、更に地域社会の期待に応えられるよう指導の充実に努めなければならない。 ○部活動におけるトラブルにより当該専門部に多大な迷惑をかけるとともに生徒・保護者、地域社会からの信頼を損ねることになった。部活動の指導の在り方について、各顧問の意識を一層向上させる必要がある。 ○グローバルな視野と豊かな人間性の涵養を目的として、国際交流を取り入れるよう取り組んだが、多くの機会を持つことができなかった。 ○生徒の規範意識の向上や通学時の列車乗車及び自転車乗車時のマナー向上等、更なるシティズンシップ教育の継続的な取組が必要である。特に、自転車使用時の交通事故が増加しており、交通安全指導の強化が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「確かな学び」を実現する学習環境づくり ・系統的・組織的な進路指導体制の確立 ・豊かな人権感覚や国際感覚、シティズンシップの育成 ・健康安全教育の推進と部活動の充実 ・地域社会の活性化に貢献できる教育活動

分掌 教科	項目（重点目標）	具体的方策	評価	成果と課題
1 組織・運営	教職員の連携を強化し、組織的な学校運営に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 部長会議を基軸とした運営と各分掌間・各教科間の連携をさらに強化する。 小・中学校や地域社会と連携した開かれた学校づくりに努める。 		
2 総務企画部	綾高の魅力を深め、それを広めていく。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒および教職員の活動を通して、綾高の魅力を校外内に広報する。 京都フロンティア校（地域創生推進校）の事業を推進する。 		
3 教務部	生徒の基礎学力と学ぶ意欲の向上	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習状況の実態調査・授業アンケートを活用し、指導と評価について研修を行う。 1年生まなび週間による「まなトレ」の有効活用をはかる。 		
4 生徒指導部	基本的な生活習慣を確立する	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶や入室マナー、正しい言葉遣いを身に付けるように指導する。 常に身だしなみを整えるように、職員全体で指導を徹底する。 遅刻をなくすため、スタンプラリーと入室許可証のシステムを実施し、学校（担任）と家庭が連携して指導する。 		
5 進路指導部	地域社会の期待に応えるべく、系統的な進路指導体制の一層の強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒の課題や必要な手立てについて検討を重ねる。 学年部との連携を一層密にし、担任と進路指導部による部会を複数回実施し、共通した指導を行う。 本校HPに進路指導の様々な取組の様子を順次掲載する。 		
6 保健部	命と身体を大切にすることを育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ルール・マナーを守り、見通しをもった行動で危険を回避し、安全に生活できるように指導する。 保健だより等を活用し、さまざまな健康課題について考えさせる。 性教育・生活習慣病に関する教育を行い、正しい知識をもたせる。 		
7 第1学年部	基本的な生活習慣を確立させ、遅刻や欠課をしないようにさせる。	<ul style="list-style-type: none"> 5分前行動など、定められた時間で行動できる指導を徹底する。 挨拶や掃除、身だしなみなどの指導を徹底する。 教員間の情報交換を密に行い、家庭や関係分掌との連携を図る。 		

分掌 教科	項目(重点目標)	具体的方策	評価	成果と課題
8 第2学年部	確かな学力を身につけ、進路意識を強く持たせる	毎日の継続的な家庭学習の習慣を身につけさせ、進路実現に向けた取り組みをすすめる。 教科担当者と綿密な連携を図り、学力の向上を図る。 実用英語技能検定や漢字能力検定などの資格検定試験を積極的に受験させる。		
9 第3学年部	希望進路の実現	進路実現に向けての自主探究を促し、また担任が面談等を通して的確な指導を行う。 進路指導部との連携を密に行い、すべての進路活動進捗状況の把握に努める。 担任間で積極的に情報交換を行い、進路指導力の向上に努める。		
10 事務部	窓口業務及び電話対応における信頼される学校	保護者や来客者等に親切・迅速・丁寧な窓口業務を行う。 電話対応において、迅速な取次ぎ、丁寧及び的確な説明を行う。 来客者に来客者名簿を記入していただき、来客者の行動を把握して不審者対策を図る。		
11 国語科	基礎力の上に立った、運用能力、実践力の育成	生徒の個に応じた学びを大切にし、確かな基礎学力の上に、演習、A Lなど多様な方策を用いて、運用能力、実践力を身に付けさせる。		
12 地歴公民科	基礎学力の定着をはかり、希望進路の実現に努める。	各クラスの状況に応じて基礎基本を重視した授業を展開し、学力の向上を図る。 定期的の小テストを実施し課題を与えて、家庭学習の定着化を図る。 時事問題や地元の身近な題材を取り上げ、生徒が興味関心を示す授業となるよう努める。		
13 数学科	学力の向上のため家庭学習の習慣の確立	授業規律を確保する。 定期的な演習課題、小テストなどを行う。 日常生活の中に隠れている数学的なものを紹介しながら、数学に興味関心を抱かせる。		
14 理科	新コース制に応じた指導の完成	新しいコース設定に伴う新教育課程に応じた効果的な指導を行う。 年間計画に基づき、生徒の知識が定着し、理解が深まるような授業展開に努める。 授業規律を確立し、学習環境の向上に取り組む。		
15 保健体育科	健康・安全への関心を高め、日常生活の中で実践できる力を育む。	自ら課題を見つけ、探究する能力及び行動力を育てる。 健康の保持増進への知識や理解を深め、基本的な生活習慣を身に付けさせる。		
16 英語科	英語を積極的に理解し、英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。	教科書等の英文を覚える活動を一定取り入れ、使える英語を増やす。 生徒に英文を作り使わせる機会を増やす工夫をし、生徒のコミュニケーション能力を伸ばす。 特に1学年では「フォーams」課題に積極的に取り組み、英語を用いて自己表現ができるようにする。		
17 芸術科	基礎技術を充実させ自ら学ぶ意欲を育てる。	授業規律を大切にす。 授業時間を有効に活用し、完成度を高めるための姿勢を身につけさせる。 技能差のある生徒が取り組める課題を取り入れ、個々の能力の掌握に努め、基礎的な内容から高度な内容まで表現できる幅を広げさせる。		
18 家庭科	家庭生活の改善・充実・向上を目指す	実生活の中から課題を見つけ出し、学んだことが生かせる授業を展開する。 生活に役立つ実習を取り入れ、体験的に学ばせる。		
19 情報科	情報モラル意識の育成	個人情報の使われ方を通して、自己の個人情報について学ぶ。 知的財産権(著作権・特許権など)の歴史を通して、その重要性を理解させる。 情報発信時の個人情報に関する注意点を理解させる。		
学校関係者 評価委員会 による評価				
次年度に 向けた改善の 方向性				